（参考）

用語解説

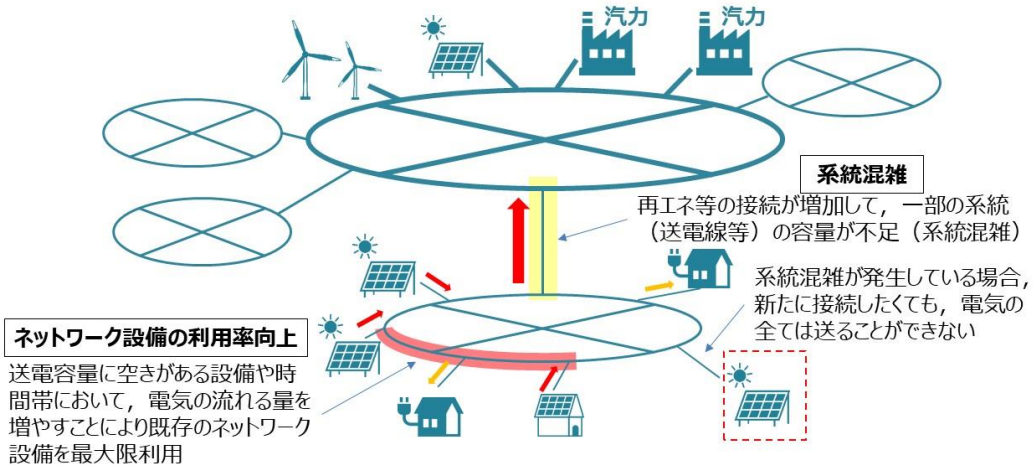
■系統混雑

発電所で発電された電気をお客さまに送る送電線・配電線・変電所などの設備には，線の太さや電圧を変える設備の能力により電気を流すことのできる容量の上限があり，これを「送電容量」と言います。再エネ等が増加することにより，系統の一部で送電容量を超えてしまった場合，発電された電気の全ては送ることができない状態となり，これを「系統混雑」と呼んでいます。

近年，太陽光発電所が各地に作られたため，晴天時の昼間などは送電容量の空きが少なくなる時間が増えてきています。

■ネットワーク設備の利用率向上

増加する再エネの電気を流すために電力系統を増強するには多額の費用と時間が必要です。送電容量に空きがある設備や時間帯において，電気の流れる量を増やすことにより既存のネットワーク設備を最大限利用（設備の利用率向上）することができれば，費用を抑制しながら再エネ接続可能量の増加が期待できます。



■再エネ出力の最大限利用に資する電化推進

電化を推進すると，再エネ電気を消費する量が増え，系統混雑解消に寄与します。

また，遠隔制御可能な蓄熱機器等の電気機器が普及すれば，需要量以上の発電量が発生する昼間の時間帯において，遠隔制御により電気の使用時間帯の移行を図り，設備利用率を向上させることで再エネ出力を最大限利用することが可能になると期待されます。

以上